

平成 30 年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日 時: 2018 年 12 月 6 日(木) 13:00~16:10
 場 所: 兵庫県立大学 明石看護キャンパス (演習室 406)
 テーマ: アロマセラピーの原理と実際
 講 師: 相原 由花 先生(英国 ITEC 認定アロマセラピスト、(株)ホリスティックケアジャパン代表、ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院長)
 受講者: 4 名(アンケート回収 4 名(回収率 100%))
 主 催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 内布敦子

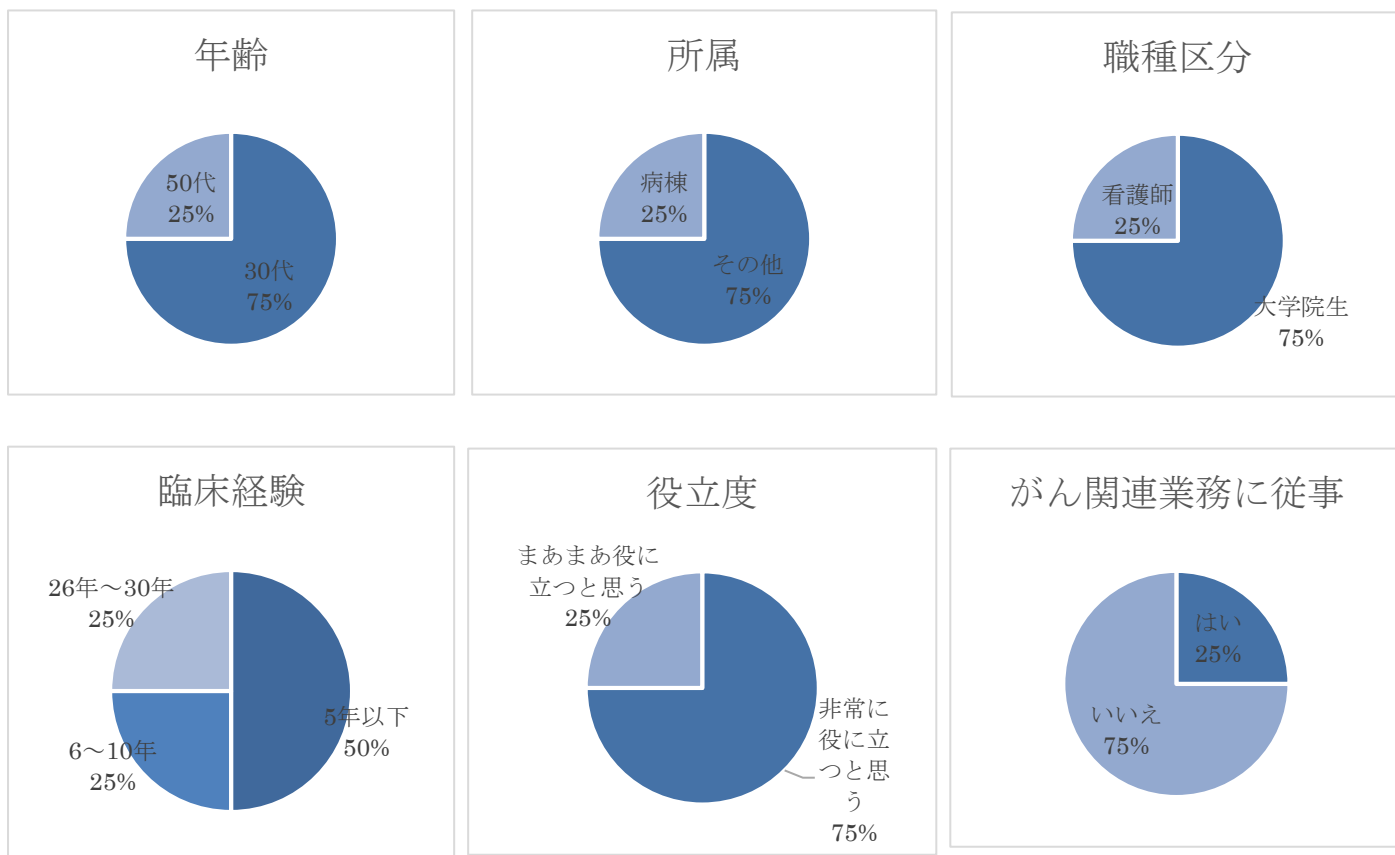


<概要>

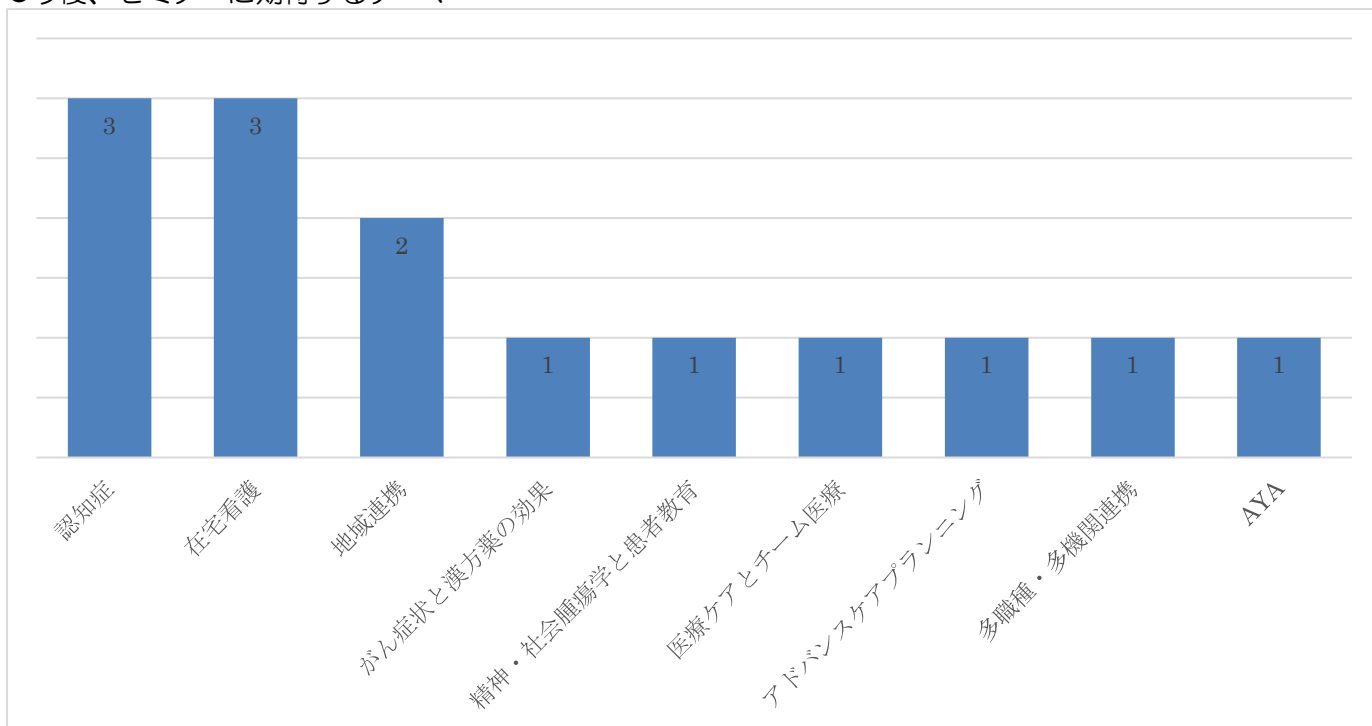
英国 ITEC 認定アロマセラピスト、(株)ホリスティックケアジャパン代表、ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院長 相原 由花先生から、「アロマセラピーの原理と実際」として、精油の種類や生成方法からそれぞれの効果まで、実際の臨床における使用例を絡めながらご説明いただきました。何種類もの精油の香りがかかっていたら、それぞれ、どのように使われるかの具体的なお話は、アロマセラピーに対する概念がすっかり変わるぐらい印象的でした。後半は、2 人 1 組になってハンドアロママッサージを行う演習を行いました。演習室いっぱいにアロマの香りが漂って、香りに癒される講義にもなりました。

<アンケート結果>

●参加者について



●今後、セミナーに期待するテーマ



●参加者からのコメントより

▼今回のセミナーで、あなたが感じたこと、印象に残ったことがあれば自由にお書きください。

- ・アロマセラピーにこんなにも治療効果があるとは思いませんでした。意外と匂いのきつさは感じないんだなと思いました。
- ・臭いをかぐことにより、自分の気分の変化も見られた。

▼がん医療について、今、最も強く感じている課題をお書きください。

- ・患者中心よりも病院、病棟、看護師の価値観を押し付けているなと感じました。
- ・終末期の倦怠感の苦痛
- ・パス以外の看護が自由にできないので、もっといろいろできるといいなと思います。

